

NATIONAL ARCHIVES

国家公文書館の紹介

VENUE GUIDE



國家檔案館

NATIONAL ARCHIVES



Contents

目次

About the National Archives

当館について

P01

Architecture & Landscape

建物の景観

P03

The National Archives Timeline

建築について

P07

Collection Management

所蔵管理

P09

Public Spaces

オープンスペース

P11

About the National Archives

当館について

2025 年 11 月、緑の木々に囲まれた台湾初となる国家公文書館（国家檔案館）が運営を開始します。国家・社会の発展と人々の生活を見つめてきた記録を政府機関、民間団体、個人から収集することで、台湾の色彩豊かな物語を伝える国家の貴重な記憶を残していきます。

公文書館は現在と過去の歴史が織りなす場所。悠然とした時の流れに身をまかせ、世間の喧騒から離れてみませんか。館内の展示、公文書の閲覧、文化創造、カフェ、人文風情、自然の風景をゆっくりと楽しめば、生活の温もりがよみがえり、悠久の時を感じることができるでしょう。



Architecture & Landscape

建物の景観



デザインコンセプトは「木々の収蔵、記憶の探求」

木々の緑を背景に佇む建物は、美しい幾何学的ラインと林口の赤土層をイメージした重なり合う赤色が目を引きます。裏面塗装ガラスとマット加工ステンレスによる趣のある外観は、台湾の記憶を煌めきとともに映し出しているかのようです。屋外に続く「緑の坂道」、アート作品の「霧の風景」、輝く水面を見せてくれる「曦月池」が、建物の美しさと自然の心地よさを際立たせてくれます。そして、「梢の広場」で足を止めて振り返ってみてください。きっとあなたを探求の旅へと誘うことでしょう。

「グリーンエネルギーとスマート性、親しみやすさと開放感」を重視した建築

環境生態、省エネルギー、環境保護、安全性、快適性に注力し、内外とのスムーズなアクセスを可能にした緑あふれる建物は、人々と公文書の距離を縮めてくれます。また、インテリジェントビル管理とグリーンデータセンター技術を導入したことで、運営効率を最適化しています。人々の利便性を重視した公文書館は、友好的なサービス環境や持続可能な発展を実現します。

「生態の再生、自然と人文」が融合した風景

人々の原初の自然への憧れから、敷地のわずか4分の1のみを建物が占める構造とし、植栽景観は既存の生態の姿を引き継ぐよう設計しました。自然の遷移を経て形成された二次林の植生を74%保持し、豊かな生態の記憶を守りながら、周辺の林口運動公園とつながって都市に豊かな緑の帯を創出。生命を育む自然生態がのびやかに育ち、生き生きとした緑が人々の憩いの場へと広がります。こうして、建築・自然・人文が調和し共生する風景を生み出しています。



The National Archives Timeline

建築について

2017

行政院が「国家公文書の収蔵および服務建設計画」を承認

2020

行政院が「国家公文書収蔵および服務建設計画」第1次修正を承認

2021

行政院が「国家公文書収蔵および服務建設計画」第2次修正を承認、「国家公文書館建設工事」に着工

2023

「国家公文書館建設工事」の上棟式、新北市工安賞にて特優を獲得

2024

第24回公共工事金質賞
建築工事部門・第一級
「優等」賞を獲得、「国家公文書館建設工事」の竣工

2025

ダイヤモンド級緑の建築標章、ブロンズ級スマートビルディング標章を獲得

11月22日国家公文書館の運営を正式に開始

Collection Management

所蔵管理

「広く資料を募り、知を結集する」国の記憶

中央・地方政府の重要な公文書や、民間団体の貴重な文書を集め、政府全体の視点から、行政、国家安全、共有資源管理、財務・経理、教育・科学・文化、社会発展、地方の7つの主要分野を中心に所蔵を進めています。台湾の民主価値や経済の発展だけでなく、多様な文化や新たな問題に関する公文書も収蔵しています。さらに、国外の国立公文書館に収蔵されている台湾関連の公文書のほか、さまざまな集団の視点や社会の多様性が記された個人や団体が保有する価値ある文書を収集することで、貴重な国の記憶を保存しています。



「収蔵能力の増加、多様な分野」による収蔵品の拡大



書架総延長は開館前の30kmから倍増し、100kmに及びます。これは高さにすると、台北101ビル約200棟分に相当します。収蔵の中心は公文書ですが、貴重な史料、写真（イラスト）、動画、文物等の紙や多様な媒体による記録物も含まれます。初期の公文書では見事な筆遣い、歴史や文化、教育的価値を目にすることができます。館内にて最も古いものは1743年の古文書であり、清の乾隆帝の時代までさかのぼることができます。また、「台湾鉄路アーカイブ（1895-1989年）」は文化庁が初めて重要古物として登録したかけがえのない貴重なものです。その他、光復初期に接收した施政に関連するものや、38年に及ぶ権威主義体制の解除を宣告した「1987年戒厳解除令」もあり、台湾の生命力の強さと民主主義の真髄を伝えています。

「スマートセキュリティ、自動管理」で適切に保管



公文書を収蔵する前に除菌作業を行います。資料の種類に応じて適切な温度と湿度に調整された収蔵庫に移した後、永久的な保存の実現のため、説明文作成、複製、調査、保管管理等を実施します。公文書入出庫輸送において適切な動線を確認するため、機械輸送設備と情報技術を統合したほか、国家公文書収蔵庫専用システムの導入により、公文書の出し入れにおける安全性と追跡可能性を実現しています。そして、収蔵庫スペースは「室中室（部屋の中の部屋）」というコンセプトをもとに設計されており、厚さ15cmの鉄筋コンクリート壁2枚にロックウール断熱材を埋め込み、その隙間をファイバーセメントボードで密閉しています。100cm以上の空気緩衝層を設けているほか、床板の積載荷重は1㎡あたり1,200kgまで高めています。これらにより、恒温恒湿、省エネ空調、安全管理、高荷重などを実現しました。また、当館「国家公文書保存管理センター」と「デジタルアーカイブ技術サービス室」は産学官連携を推進しており、記憶を保つための鍵となる、細やかな管理による長期保管に注力しています。

Public Spaces

オープンスペース

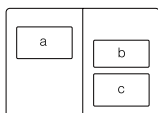


"01 出会い — アーカイブホール

大きな窓から園区の景色が差し込み、温かな光が迎えてくれるこの場所は、待ち合わせ、交流、休憩の場に最適です。壁には公文書に関する知識や国の重要な貴重な公文書、公文書館の沿革を寓意的に表したインタラクティブな展示が施されており、来館者が公文書に初めて触れ、知るきっかけとなっています。

"02 凝視 — 歴史の鏡

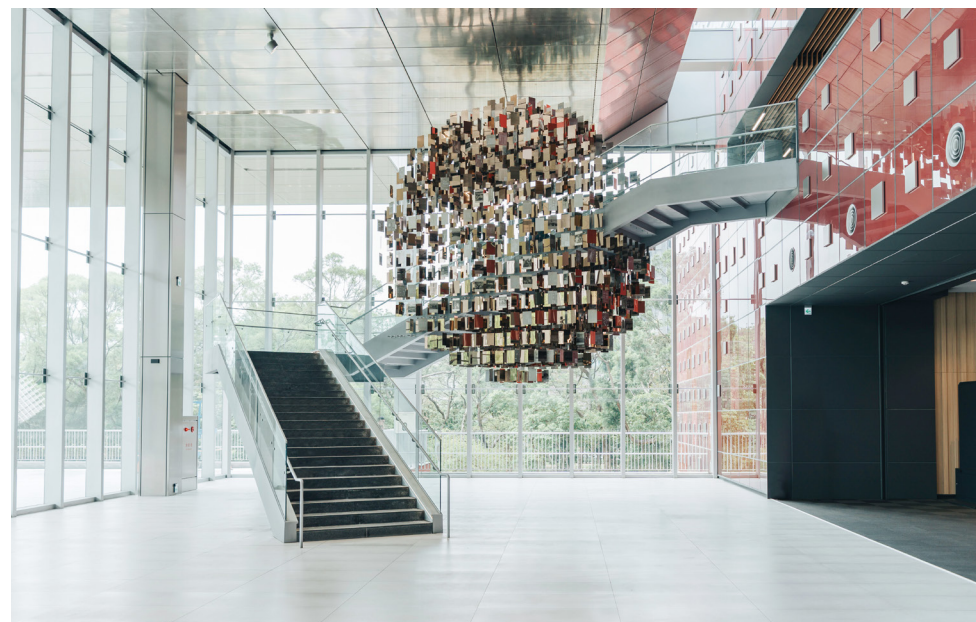
2階から3階に足を踏み入ると、左側には生い茂る緑に浮かぶ長窓、右側の階段そばには貴重な公文書を再現した幾重にも連なる鏡が目飛び込んできます。光や影が動くたび、記憶の層が波のごとく煌めきます。その間を通り抜けることは、歴史のページをめくるようなもの。足を止めて見つめれば、今も呼吸を続ける歴史の軌跡が時空の旅へと誘います。



- a. アーカイブホール
- b. 時の回廊
- c. 歴史を映す鏡

"03 旅 — 時の回廊

2階の展示室にある、もっとも魅力的な「コ」の字型の廊下では、歩みとともに景色が変わる驚きの体験ができます。右側の廊下は「時の行方」をテーマとしており、生活を映した映像資料に列車車両や幻想的なイラストをあしらひ、50年間の物事の変化を映し出します。中央の廊下でひと休みした後、左側の廊下に進むと「アーカイブ・創造」をテーマとしたエリアに入ります。365日分の歴史記録映像がスクリーンに映し出され、来館者は好みの映像を選んで、自分だけの訪問の記憶を持ち帰ることができます。





"04 銘記 — 常設展示室

時の回廊を抜けて常設展示室に入ると、鏡面に多様な国家公文書を投影するインスタレーションが迎えます。ここでは歴史の光と影を映し出した「この島で読む私たちの物語」が展開されます。戦後の大規模な人口移動と台湾移転の風景、世界の荒波の中で存在する台湾の多彩な姿を知ることができます。5つの章では、それぞれの時代背景と転換の鍵を、革新的なインタラクションと情景体験を通して辿り、手で触れるように過去の光景を感じながら、未来への想像を広げていきます。

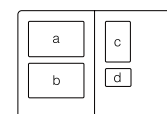


"05 共感 — アーカイブ体験

常設展示室の一角では、公文書の種類や特色を知ることができます。公文書の収集、収蔵、修復、応用、付加価値、プロモーション等の専門的な領域から、公文書展示の裏側まで、没入型技術やメタバースにより楽しみながら理解を深め、普段は足を踏み入れることができない世界を体験することができます。記憶を縫い合わせていくかのような専門スタッフの丁寧な修復、保存作業が、公文書の生命を守ります。

"06 映す — 特別展示室

公文書を主体とする特別テーマ展を定期的開催しています。背後にある物語を共有することで、来館者は公文書に込められた真意に触れることができます。また、古文書の筆跡や図像のシルエット、歴史的な写真を通して、昔の人々の思いを探り、展示体験を通じて世代を超えた集団的記憶に触れます。それは、国家の発展、社会の変遷、日常生活に対する共通の思いをつなぎ合わせるきっかけとなります。

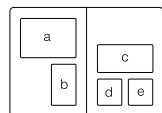


- a. 常設展示室（入口のイメージ）
- b. 常設展廊（展示エリア）
- c. アーカイブ体験
- d. アーカイブ展示



"07 魅了 — 国家公文書館閲覧センター

3階の閲覧センターは、紙媒体、電子媒体、スマートデジタル環境が融合したマルチメディア閲覧室になっています。公文書の閲覧、写録、複製等のサービスを提供しているほか、歴史書を閲覧することができます。また、過去の紙媒体がデジタル化によりクラウドに移行したため、指一本で数多くの公文書情報に触れることができます。記録に込められた事実から歴史を追求し、記憶を追い求めていけば、公文書の貴重な価値に魅了されることでしょう。



- a. 国家公文書館閲覧センター
- b. 資料撮影ルール
- c. アーカイちゃんの家
- d. カフェ
- e. 文化創造ショップ

"08 笑顔 — アーカイちゃんの家

過ぎた年月がさまざまな形で記憶に浮かぶこの空間では、未就学児が学びと遊びの思い出を体験・創造できます。公文書の森を思わせる想像と探検の童心あふれる雰囲気の中、イメージキャラクターの「アーカイちゃん」と「文鎮ちゃん」、「竹尺お兄さん」、「縫い針お姉さん」、「刷毛さん」の4人が、子供たちに公文書の世界を楽しく案内します。物語や手動装置、ARイラストなどを通じて、童心の世界に歴史の風景を描き、小さな公文書探究の種を心にまきます。

"09 散策 — ショップとカフェ

公文書には、食（食事）、衣（衣服）、住（住居）、行（交通）、育（教育）、楽（娯楽）などの生活に関わることも言及されています。参観者がここでの体験を親しい人と共有できるよう、ショップにある実用性の高い商品の背後には、大切にしたいくなるような物語が込められています。また、カフェでは特別なメニューを提供しています。目の前に広がる緑の景色を楽しみながら、コーヒーやお茶の余韻を味わい、この場所ならではの思い出をお持ち帰りください。



Visitor Information

利用案内

[火曜日] Tue. ——— [土曜日] Sat.

9:00 — 17:00 入館無料

日曜日、月曜日、祝日、春節(旧正月) 連休中は休館

▶
無料シャトル
バス



桃園機場捷運林口駅 (A9) から当館までのシャトルバスサービスを提供しています。運行時間は開館日の午前 7:30 から午後 6:30 までとなっています (発車時刻は時刻表をご覧ください)。当館 1 階サービスカウンターまたはサービス専用ダイヤル (02) 8995-3700 までお問い合わせください。

▶
自動車

国道 1 号を進み、41 キロ地点の林口 IC (41A) で降り、林口区文化一路方向に進みます (南下の場合は右折、北上の場合は左折してください)。忠孝路を左折、公園路を右折、檔案館路を右折すると到着します。

▶
公共交通
機関

① 台北捷運 (台北 MRT) :

台北駅

・ 966 のバスに乗り換え、運動公園で下車、徒歩 4 分。

淡水信義線

・ 圓山駅にて 936 のバスに乗り換え、空間樂園社区で下車、徒歩 5 分。

中和新蘆線

・ 蘆洲駅にて 925 のバスに乗り換え、運動公園で下車、徒歩 4 分。

・ 迴龍駅にて 898 のバスに乗り換え、国家檔案館で下車。

環狀線

・ 幸福駅にて 920 のバスに乗り換え、空間樂園社区で下車、徒歩 5 分。



② バス :

822、858、898、5063 のバスに乗車し、国家檔案館で下車。

③ 桃園機場捷運 (桃園空港 MRT) :

長庚医院駅 (A8)

・ 858 のバスに乗り換え、国家檔案館で下車。

林口駅 (A9)

・ 898 のバスに乗り換え、国家檔案館で下車。

・ 936 または 945 のバスに乗り換え、空間樂園社区で下車、徒歩 5 分。

・ 937 または 946 のバスに乗り換え、夢想之都で下車、徒歩 8 分。

・ 徒歩 5 分の所にある文化二路一段郵便局停留所から 920、967 のバスに乗り換え、空間樂園社区で下車、徒歩 5 分。

1F フロア案内



インフォメーション

送迎スペース

シャトルバス

アーカイブホール

アーカイブ教室 (1)

アーカイブ教室 (2)

アーカイブ教室 (3)

授乳室

化粧室

多目的トイレ

エレベーター

スロープ

かいだん



Venue Information

会場案内

館外および周辺地図

41A 41キロ地点の林口IC (41A)

桃園機場捷運林口バス停 (A9)

運動公園バス停

台北新都バス停

空間樂園社区バス停

夢想之都バス停

世質芳鄰バス停

国家檔案館バス停

駐車場

霧の風景

森の劇場

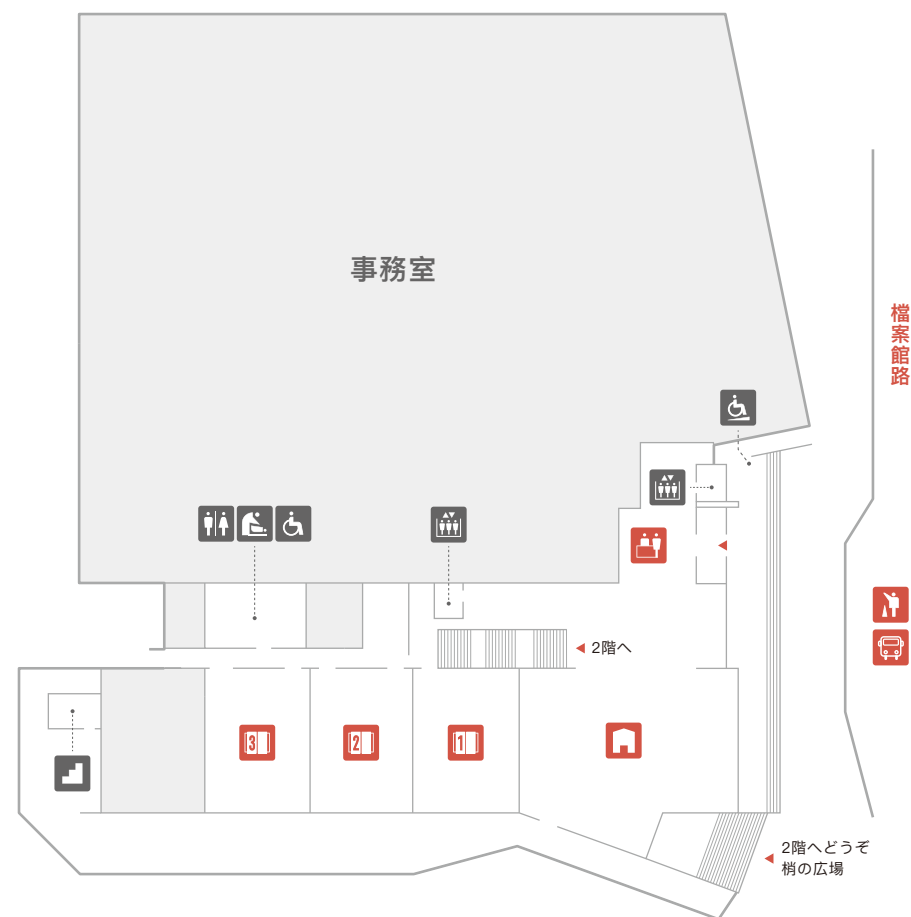
曦月池

緑の坂道

歓迎の壁

梢の広場

1Fフロア案内



- インフォメーション
- アーカイブ教室 (1)
- 送迎スペース
- アーカイブ教室 (2)
- シャトルバス
- アーカイブ教室 (3)
- アーカイブホール

- 授乳室
- スロープ
- 化粧室
- かいだん
- 多目的トイレ
- エレベーター

2Fフロア案内



- 梢の広場
- アーカイちゃんの家
- 軽食カフェ
- 常設展示室
- 歴史の鏡
- アーカイブ体験
- ショップ
- 特別展示室
- インフォメーション

- 化粧室
- 多目的トイレ
- エレベーター
- 荷物一時預り所
- かいだん

3Fフロア案内



- インフォメーション
- 国家公文書館閲覧センター

- 化粧室
- エレベーター
- 多目的トイレ

▶
定時ガイド
(休日)

・常設展 | 土曜日 午前 10:00-10:50、午後 02:00-02:50

・特別展 | 土曜日 午前 11:00-11:30、午後 03:00-03:30

各時間帯原則 30 名までとします。ガイド開始 10 分前までに、当館 2 階ホールのインフォメーションカウンターにてお申し込みください。英語ガイドをご希望の場合、3 日前までにお申し込みください。

▶
団体予約ガイド
(平日)

・火曜日から金曜日の午前 09:00-12:00、午後 02:00-05:00 の間で受け付けています。団体予約は 10 名以上からになります。各時間帯 30 名までとし、予約人数に達した場合は受付を中止します。

・中国語、英語によるガイドを提供しています。7 日前までにお申し込みください。ガイド所要時間は、常設展で 50 分以上、特別展で 30 分以上です。特別な要望がある場合、または 30 名以上の団体を希望される場合は、(02) 8995-3627 までお問い合わせください。

▶
個人デジタル
ガイド

・中国語、英語、日本語によるガイドを提供しています。

・ご自身でガイドのルートを決めることができます。個人のモバイル端末を利用して、展示物の紹介や映像をオンラインにて視聴することができます。

・火曜日から土曜日の午前 09:00-12:00、午後 02:00-05:00 の間で受け付けています。団体予約は 10 名以上からになります。各時間帯 30 名までとし、予約人数に達した場合は受付を中止します。

・中国語によるガイドを提供しています。7 日前までにお申し込みください。ガイド所要時間は 60 分からことができます。特別な要望がある場合、または 30 名以上の団体を希望される場合は、(02) 8995-3608 までお問い合わせください。



・国家公文書館ウェブサイト
<https://www.archives.gov.tw>



・公文書教育支援網 ART
<https://art.archives.gov.tw>



・ガイドオンライン予約サービス
<https://www.archives.gov.tw/tw/arctw/652.html>



・公文書資源横断検索プラットフォーム ACROSS
<https://across.archives.gov.tw>



・国家公文書情報網 A+
<https://aa.archives.gov.tw>



・公文書イベント案内 A3
<https://aa.archives.gov.tw>

新北市林口区檔案館路1号 244013
(02)8995-3700

[火曜日] Tue. ——— [土曜日] Sat.

9:00 — 17:00 入館無料

日曜日、月曜日、祝日、
春節(旧正月) 連休中は休館

 國家檔案館
NATIONAL ARCHIVES

 國家發展委員會檔案管理局
NATIONAL ARCHIVES ADMINISTRATION, NATIONAL DEVELOPMENT COUNCIL

www.archives.gov.tw

